

参加団体・参加者	参加者発言内容	知事発言内容	参加者の発言に対する県の考え方	担当課
野外保育 風の森  松本 桜 様 他 8 名 (白馬村)	○野外保育への支援について			
	1 野外保育の内容について  ・スウェーデンのエコロジー教育を参考に、20年程前から自然環境を利用して、五感を育てる野外保育を始めた。 ・野外へ出て、保護者も一緒になって、ありのままの自然に接する保育の良さを知ってほしい。 ・長野県は、自然豊かな県であり、その自然を十分に活用されていないと思う。	・長野県の自然環境の良さに、県民が慣れてしまい、この良さの自覚が低い。長野県をどう活かすか、子供の教育に活かせるかなど、皆さんと一緒に考えたい。	・県内には、地域の自然環境等を生かした保育の質を高める取組を実施している保育所がありますが、保健福祉事務所等に配置されている保育専門相談員が保育所訪問をする際などに、優れた保育実践例を紹介していくように努めます。	こども・家庭課
	2 野外保育の現状について  ・特区として野外保育を推進する形で、県は見守り続けてほしい。 ・野外保育園の共通の課題は、運営資金の不足である。安定的に継続して運営するために、保育士の給与に対するサポートなど、行政から支援してもらえれば、保護者の負担が軽減し、野外保育園が選択肢の一つになると思う。	・行政が教育に過度に関わるのは良くない。本当は枠組みだけ決めて、学校単位で自由に認められる制度にしていくのが良いのではないかと。野外保育はどういう形が良いのか、皆さんと考えたい。	・野外保育園は認可外保育施設に該当しますが、認可外保育施設に対する運営費補助として、県では「認可外保育施設児童処遇向上事業」を実施しています。野外保育園の運営状況などを把握する中で検討していきます。 ・長野県野外保育連盟が設立しましたので、情報交換等を行っていきます。	こども・家庭課
	3 野外保育のPRについて  ・長野県は野外保育園の数が一番多いので、県として野外保育をもっとPRしてほしい。	・今回、移住交流本部を立ち上げる予定なので、長野県にはもっと良いものがあるので、もっと人に来てもらって、交流を深めようと思っている。  ・先日、教育をテーマにワークショップ形式のタウンミーティングを実施したが、今度、子供の幼児教育などをテーマに、関係者が一堂に会して話し合う場があれば良いと思う。	・平成24年3月16日に「長野県移住・交流推進戦略」を策定しました。 ・長野県への移住者や交流人口の増加に向け、同戦略に盛り込んだ内容の成果があがるよう、担当部局の事業を着実に進めるための連携を強化してまいります。	移住・交流課
		・野外保育を実施している施設は、全国の状況は把握していませんが、県内には12施設あると承知しています。 認可外保育施設については、県のホームページに情報を掲載していますが、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	こども・家庭課	